



議会だより



第22号

平成23年9月1日発行

The Taki Town
Council Newsletter

東日本大震災 現地報告特集



CONTENTS

■こんなことが決まりました	2
■一部事務組合より	2
■一般質問 定例会一般質問	3-7
■特別委員会報告	7
■東日本大震災被災地見聞報告	8-11
■議会のうごき	12
■次回定例会	12
■たきの風	12

大震災支援活動

西川清嗣議長から山元町佐藤晋也議長へ

発行:多気町議会 編集:議会広報特別委員会

住所:〒519-2181 三重県多気郡多気町相可1600

TEL:0598-38-1120

<http://www.town.taki.mie.jp/chousei/gikai.html>

はい!!

質問

第2回定例会 8人が一般質問

防災行政の取り組みは

答 日ごろの訓練が重要と考える

前川 勝 議員

問

東海・東南海・
南海地震が30年
以内に87%の確率で起
ること予想され大災害
が考えられる。

組みを尋ねる。それと、
中央構造線上にある五
桂池を含めた町内の溜
池の安全対策はどうか。

答 (建設課長)

平成22年126戸が
診断を受け2戸のみ補
強工事実施があった。平

成23年6月で1179戸
が診断対象であり、補
強工事については戸別訪
問し事業推進を図る。

溜池については規模によ
り五桂池を含め13の池を、
地震後状況により調べてい
る。他の池についても調査
の必要性は認識している。

答 (副町長)

が東日本大震災
被災地支援活動に行か
れたが、今後の当町防
災の考えを聞きたい。

防災計画の見直
しはもとより、職員の明
確な行動指針等早期の
対応を考えている。

答 (副町長)

防災計画の見直
しはもとより、職員の明
確な行動指針等早期の
対応を考えている。

防災行政の取り組みは
災害時の町内避難所と自
主防災組織の在り方と町
の考え方について

前川 勝 議員 3頁

東日本大震災、今後の被
災地支援をどのような方
針で進めていくのか

西川 浩 議員 5頁

小中学校等における
防災教育・防災学習は
中森 一秀 議員 4頁

高校生レストラン
まごの店について

西村 茂 議員 6頁

放課後児童クラブ大規
模化へ集約の弊害を問う

中野 正宣 議員 5頁

「全国学力学習状況調査」実
施変更の経緯と今後の方針は
山口 英子 議員 6頁

小学校の英語教育について
中西 敏雄 議員 7頁

問 住宅耐震診断・
耐震補強工事補助の現状と今後の取り
組みについて

答 (総務税務課長)
検査であり、耐震等も考
え地区と話し合い検討す
る。丹生老人福祉センター
の対応は、丹生区等と話
し合いを進める。

問 町管理施設で耐
震構造が不明の
まま使用されているが
対応を問う。それと、
防災マップの佐奈川・櫛
田川沿いに指定されて
いる、一時避難所が浸水
想定区域内にあるが対
応を聞きたい。



家庭用固定器具サンプル

災害時の町内避難所と自主防災組織の在り方と町の考え方について

答 地震、風水害時など、用途別で見直す

小林 正夫議員

問 平成19年3月に策定された防災計画に添つて、防災会議で、検討や決定がされていると理解するが、

東日本大震災のような想定外の災害が多気町

周辺で生じたら、町民の生命、財産は守れないと考える。避難所の見直しと、自主防災組織の強化についての考

えは。

答 (総務税務課長)

今後は、風水害、地震時など用途別で区分して、わかりやすくなるよう見直しを進めていきたい。

現在、小規模災害時に一次的に開設する一次避難所は55か所、大規模災害時に開設する長期

とした避難所運営に係る取組を実施していきた
防災については、まず大
切なのは隣近所との絆、
次に危険があることを
知つて頂くこと。町とし
ては、ここが危険である
という情報の提供をして
いきたい。

滞在可能な二次避難所
が17か所、風水害時の
臨時避難所4か所を指
定している。新たに今年
5月に、相可高校を二
次避難所に

要援護者に
ついては、町
で把握してお
り、現在女性消防隊で
個別訪問して
いる。

5月に、相可高校を二
次避難所に

問 ①教育現場の防災教育・学習の現状は。

②防災マニユアルの整備

特に児童生徒の登下校時、園児の送迎時の避難誘導、保護者

への情報提供と訓練の実施は。

③各現場緊急時における町災害対策本部／教育委員会と現場との情報収集訓練の在り方は。

④各現場段階での防災学習や訓練の成果は。

答 (教育長)

①児童生徒の安全確保を最優先する。基本的には県教育委員会作成の「防災の手引」の他、多気町地域防災計画に基づく「災



小中学校等における防災教育・防災学習は

答 災害発生時には「児童生徒の安全確保」が最優先

中森 一秀議員

問 ①教育現場の防災教育・学習の現状は。

②避難誘導は基本的には一時的に「安全」な場所へ退避し、その後自宅か学校か安全に近

い方に誘導する。学校に避難した場合は「出迎えカード」を使い保護者に引き渡す。

③緊急時の保護者への伝達は、町防災無線、緊急連絡メール、地区連絡網、各校HPを活用する計画であるが停電や電話が不通となる場合があるので、

その他の質問
給食の現状と対応は!
食物アレルギー対応



④各学校では、地震や火災を想定した避難訓練を2年に2～3回と、予告なし訓練も実施。地震体験車、DVによる視聴覚学習など訓練を通し児童生徒は落ち着いて速やかな「自分を守る行動」ができるようになつていて。

害発生時の学校の初期対応マニユアル」により対応している。

者との共通理解や確認などマニユアルの整備を更に進める。

放課後児童クラブ大規模化へ 集約の弊害を問う

答 天啓に公設公営で一個所設置に
ご理解を

中野 正宣 議員

問

児童館を1億
6千万円の予算

で建設し町内にある学
童保育を一本化する

とのことであるが、学
童保育は校区内に設置

し活動出来なければ

保護者や児童に負担
が増え、また、大規

模化は子供たちに弊害
が生じ事故や怪我が
増えると指摘されてい

る。また、鈴木三重
県知事は校区内に作
るべきと明言されてい
る、なぜ集約するのか。

勢和キッズハウス

答 (町長)

この施設に取り
組んだ要因の一つに公設
公営での運営であ

る。児童厚生員の配
置そして、障がい児
や延長を希望する子
供たちを支援してい
きたい。送迎について
は各学校へ低学年・
高学年に分け迎えに
行き、帰りは保護者
に施設へ迎えに来て
いただく。そして、
勢和キッズを残す要

護者は喜んでいるが、
合併支援道路は今だ未
改修での学童保育の一
本化に、勢和地域の保
護者は困惑しているが



勢和キッズハウス

望があれば協議をする
が公設公営は難しい。

答 (町民福祉課長)

インで児童の上限を定め
ている、当面50人～60人
を想定し、クラス編成は
11人～12人とし一人の指
導員を付ける、また、プー
ル利用については施設の
関係もあり保護者と相
談し利用に向けて検討
していく。

児童館については今回学
童保育と子育て支援セン
ターとして建設するが子
育ての総合支援と言う
形で、子供に関する全て
を集約したい。

東日本大震災、今後の被災地支援 をどのような方針で進めていくのか

答 県の要請に応じる形で
支援していく

西川 浩 議員

問

多気町は、同規
模の宮城県山元

町を重点的に支援して
いく方針で、これまで
2回、職員を派遣し支
援物資を届けたが、災
害の規模から復興には
長い年月がかかる。

今後どのような形で
山元町への支援を続け
ていくのか、また民間
の団体や個人の活動を
町として支援していく
考え方。

6月25日から29日まで
保健師1名を陸前高田
市に派遣。
民間、個人の活動支
援については府内で協議
し前向きに考える。

問 福島原子力発電
所の事故で、日
本のエネルギー需要を
今考え直す時期にきて
いる。

答 公共施設の省エネ、
工場の取り組みはどの
ようなものか。今後新
設される児童館や、く
すの木作業所など、改
修される給食センター
の給湯、空調施設に木
材ペレットを燃料とする
ボイラー等の導入を考
えられないかを問う。

答 (町長)

太陽光発電設
備、施設内の照明もLED
電球を考えている。

公共施設には計画電
気量を超えた場合、警
告を発するデマンド監視
システムを導入していく。

その他の質問

高校生レストラン、
地域経済に与える効果
を、今後維持拡大して
いくには

答 太陽光発電等で省
エネ工「な公共施設
燃料、再生可能自然
エネルギーを取り入
れた公共施設を



被災地の復旧支援

答 現在山元町から
支援要請は無く、県か
ら多賀城市への職員派遣
要請が来ているので、県
の要請に基づき支援を
行っていく。これまでも
塩釜市へ職員2名を9日
間派遣。

答 太陽光発電等で省
エネ工「な公共施設
燃料、再生可能自然
エネルギーを取り入
れた公共施設を

高校生レストラン まごの店について

答
多気町の
チャンス

子福社会の皆さんとか、たくさんの方々と一緒になつて多気町を盛り上げ、活動しま。

西村
茂議員

※「まつりの宝創造

問 小さな店である
が大きな希望を

問 が大きな希望をもたらしてくれる、「まごの店」は、計り知れない多気町のイメージアップにつながっているが、今後、商工会とのつながりや、行政としてどのような方向で活性化につなげていくのか。

は、日本全国に知られて
いる相可高校の調理実
習施設であり、目指す
学校像に、「夢をかなえ、
地域とともに歩む学校」
と掲げられ、地域と連
携をした取り組みをこ
れまでされており、多
気町の活性化にとつて
も、またとないチャンス

多気町には、まだ
まだ素晴らしい、人、
モノ、歴史、自然、
心、習慣など多くの
地域資源が眠っています。そこで、その素
晴らしい地域資源を
発掘、発見し、それ
らを磨きあげたり組
み合わせたりして「地
域の宝」として輝かせ
ていき、地域づくり
を進めていく必要があ
ります。現在は、こ
れらの取り組みを「エ
イチ（英知）プロジェクト」
と位置付け、自
転車文化の振興や多
気町のPRなどいろいろな取り組みを積極
的に進めています。この
プロジェクトを担当
するのが、「まちの宝
創造特命監」です。

「全国学力学習状況調査」実施 変更の経緯と今後の方針は

町内全ての児童生徒の学力向上に、新しい検査方式の取り組みへ

山口 英子 議員

(A) のサイクルを毎年一度繰り返すことを通じて学力を向上させていく取り組みを、継続していく方針である。

向上委員会の協議結果である。その構成は、小中学校長代表各1名、小中学校職員代表各1名、郡指導主事1名、町教育委員会事務局3名で、その活動は町全体の検査結果を分析して、子どもたちの学力の強み・弱みあるいは課題を集約整理した上、各校の改善経営計画として活用していく。

答 (教育長) 学力テストの調

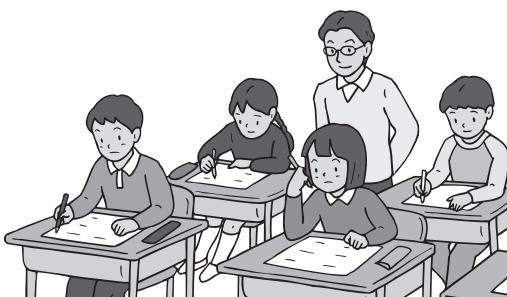
「準学力検査・CRT」と「アンケート検査・Q・U」また「PDCA（行動プロセス）サイクル」 方式に変更したその経緯と根拠を伺いたい。

この新しい取り組みの根拠は、町の学力向上推進委員会（以下「向上委員会」）の協議結果

なのか。

この様に計画立案（P）—実行（D）—評価検証（C）—改善行動（A）

確して取り組むことから
重要。その方法として
全ての学年の検査を実
施できるCRTを選択
し併せてQ-Uを毎年
度実施して子どもたち
の成長を確かめながら
よりよい学習に取り組
む。すでにCRTとQ
-Uの検査は全校で実
施済みである。



小学校の英語教育について

答 英語を通して「コミュニケーション能力の素地や態度を育てる」ことに努力している

による支援やいろいろな教材を使い、担任に対しされており、子どもたちは楽しく学んでいると聞いている。

中西 敏雄 議員

本年度より小学校5・6年生を

対象に英語教育が実施されているが教育現場での混乱はないか伺いたい。

①教師のスキルは確保されているのか。

②教師の負担は相当大きなものがあると思うが管理者の

フォローはしつかり

なされているのか。

③民間の専門教師の派遣要請はしているのか。

④子どもたちは楽しく授業を受けているのか。

（教育長）
4点について質問



火葬場問題調査検討特別委員会報告

本委員会は、前火葬

場建設委員会が建設に

向け、順調な流れの中委員会を進めてきましたが、町長交代で久保町長となり、「任期中は火葬場建設に取り組まない」となりました。

しかし、必要性はあるとの説明を受け、火葬場建設に対して火を消さないためにも、火葬場問題調査検討特別委員会の設置という経過があります。

その後委員会の開催数回、近隣の火葬場視察等進める中、勢和地域の勢和斎場の改修工事も済み、意見として満足のいくものであることや、松阪市との行政間でのお願い事は問題が発生した時地元優先となり、細部にわたり調

え、松阪市との関係等他まかせでいいものかどうか。

近隣市町は各自治体で火葬場の運営を行っており、多気町も今後必要性があることから、町営または民間での設置も視野に入れ、本委員会は引き続き前向きな調査検討を進めています。



〔東日本大震災3・11〕—被災地見聞報告—

〔宮城県山元町・仙台空港周辺〕

(平成23年7月8日～10日)

大きな△絆▽と共に

力強く復興へ！

的な被害に見舞われました。また、犠牲者は、行方不明者を含め7百名を数えました。

訪れ、同町の佐藤晋也議長と事務局長の出迎えを受け、当町の西川清嗣議長から議員等より託された義援金と支援物資をお渡ししました。

★現地に来て全体を見た。地形のあり方を目の当たりにして「百聞は一見にしかず」。この体験を生かしたい。

【出張報告書から抜粋】

大震災被災地を見た議員のつぶやき

未曾有の大地震と大津波は原発事故を誘発し、東北地

方に多くの犠牲者と家屋施設などの財産そして農地、工業、観光など多方面にわたり無残な爪痕を残しました。不幸にも、尊い生命を亡くされた方々に、謹んで哀悼の誠意を捧げます。

多気町議会では、この大災害の被災状況をつぶさに見聞・検証し、今後の多気町防災行政の施策に活かそうと、議員提案として本会議で採決され議員承認となつた

また議員として少しでも
で採択され議員派遣となつた
ものです。



自衛隊（愛知）が活躍!!（山元町役場）

長い海岸線の広大な土地を今後如何に復興させるか。改めて自然の猛威を痛感した。自然の力を軽視すべきでない。

★改めて津波の恐ろしさの現実を知つた。奉仕作業に被災宅の子供と一緒に汗を流してくれた。支援活動最大の意味は絆。

【出張報告書から抜粋】

大震災被災地を見た議員の

8

ちなみに支援物資はコメ・生活道具・ハエ捕り紙など被災地のニーズに応えられるものを選びました。

そのあと、同町議会の計画を伊藤議員の案内で視察、車窓からの痛々しい風景にため息を吐きつつ被災地の土の上に立ち、同議員から災害の瞬間の話に耳を傾ける多気町議員の想いはおそらく複雑であつたと思いました。

中でも中浜小学校は海岸



山元町役場



ボランティアセンター

からわずかな距離にあり、大津波が押し寄せた短時間に3階のシエルターに避難させ、奇しくも「全員が無事」だったことの説明を聞き、極端な表現ながら学校の避難して郷土再生までには長い歳月が必要であり、継続的なボランティアによる人海作戦が大切と考えます。

今回、所用で参加できなかつた議員諸

山寺地区に移動、新しい母屋は残つたが、住宅兼納屋は津波で跡形が無くなつたといふ「斎藤」さん宅敷地の跡片付けに汗を流しました。両親は留守でしたが、男兄弟3人（小中高生？）も作業に加わつて議員たちとの話も繋がり「ひとつの絆」が生まれた、いい奉仕作業となりました。

今回の被災地訪問では、議員様に、

山寺地区に移動、新しい母屋は残つたが、住宅兼納屋は津波で跡形が無くなつたといふ「斎藤」さん宅敷地の跡片付けに汗を流しました。両親は留守でしたが、男兄弟3人（小中高生？）も作業に加わつて議員たちとの話も繋がり「ひとつの絆」が生まれた、いい奉仕作業となりました。

今回の被災地訪問では、議員様に、

（編集子）



伊藤議員から真剣に話を聞く

★中浜小学校は指定の避害発生時には、公助をあまり期待しないで、自助、共助の大切さを身をもつて学んだ。

★ボランティアができることは行政の手が届かないこぼれ落ちる支援をサポートするもの。広域的な地域の繋がりが大切。

★町のあらゆるものへの被害が甚大。大津波が町の存在を消し去つた。人も動物も家も駅も自動車もイチゴハウスも！

△掲載順不同△

ち向かう精神力だ。

★田んぼの中に漁船が傾いていた。災害の大きさに目を見張つた。この家に祖父が住んでいたけど流されたと子供の談。

がんばろう東北!!

一山元町復興へー

希望



糸



東日本大震災の 現場から



無残な自動車のスクラップの山



ポツンと残った山元町総合案内板



津波で打ち上げられた車とガレキ



撤去の進まないガレキの山



内陸まで流れ着いた福島の漁船

跡形の無い
駅舎とホーム



形がなくなった
大型農機



ハウスの横に流れ着いた船の残がい



中浜小学校の体育館内部

議会のうごき



5月 May

- 9日 三重県町村議會議長会理事会
12日 火葬場問題調査検討特別委員会
16日 松阪飯多農業共済組合議会
17日～ 第36回
18日 全国町村議會議長・副議長研修会
17日 自治体議員研修

7月 July

- 6日 議会広報特別委員会
8日～ 10日 東日本大震災復興支援活動
19日 議会運営委員会
22日 議会広報特別委員会
22日 県議長会理事会

6月 June

- 6日 火葬場問題調査検討特別委員会
13日 議会運営委員会
21日～ 24日 第2回定例会



8月 August

- 1日 議会広報特別委員会
3日 県議長会定期総会
5日 戦没者追悼式
5日 教育民生常任委員会
12日 火葬場問題調査検討特別委員会
18日 議会広報特別委員会

たまの風

災害についてこんなに真剣に考えさせられたのは初めてである。天災ばかりでなく、人災も加わり、今回の被害の大きさは計り知れないものとなってしまった。地震、津波、それに原発。結局、安心・安全で平和利用とされてきた原子力発電が、1番不安で恐ろしいものとなった。行先不透明なそんな折、もう1つの風が吹いた。

女子サッカーの「なでしこジャパン」が優勝!金メダルを胸にした。「あきらめない」という強い精神がそうさせたと聞いた。

私たちが応援に行った“山元町”的復興精神は、「心をひとつに」と書かれてあった。

2つの言葉が、深く心に響いた。

(M.N)

議会事務局 FAX(38)1140 E-mail gikai@town.mie-taki.lg.jp

次回定例会の予定

開催日時

平成23年第3回定例会
9月27日(火)午前9時から(予定)

開催場所

庁舎2階 本会議場

一日目の町長の提案理由説明までと、一般質問の様子は多気町行政チャンネルで生放送します。また一般質問は録画放送もします。
お知らせします。決まり次第行政チャンネルで放送日時等は、